

令和 5（2023）年度 第 1 回学校運営協議会 議事録

- 1, 日 時 令和 5（2023）年 6 月 2 8 日（水） 13 時 30 分～15 時 30 分
- 2, 場 所 栃木県立那須高等学校 家庭経営室・会議室
- 3, 出席者 委員 9 名、栃木県教育委員会事務局 3 名、本校職員 7 名、
コーディネーター 3 名
- 4, 司 会 本校教頭
- 5, 次 第

第 1 部 生徒を交えての熟議

[委員の感想]・生徒・教員ともに本音で話し合う環境は貴重であり、生徒はこうした環境を望んでいるのではないかと。

・情報共有できていることが学校を良くするために大切である。

[生徒の感想]・自分の意見を言える場所があつてとてもよかった。今回話した内容が実現して、学校が良い方向に変わってくれるとよい。

第 2 部 学校運営協議会

- 1) 開会
- 2) 学校長挨拶
- 3) 栃木県教育委員会挨拶
- 4) 委員紹介・出席者紹介 （資料 p 1・2 参照）
- 5) 会則の確認 （資料 p 17 参照）
- 6) 会長及び副会長選任

岡田委員を会長、鬼澤委員を副会長にとの提案があり、全員の承認を得た。

- 7) 議事
 - (1) 学校運営に関する基本方針の説明・承認
 - (2) 学校概況報告
 - (3) 今年度の取組予定
 - (4) その他

8) その他

9) 閉会

6, 議事内容

- (1) 学校運営に関する基本方針の説明・承認 （資料 p 3 参照）

〔校長〕テーマ「勇躍」

議会傍聴や横浜商科大学との高大連携など、那須高校の機動性の高さを活かして躍進を進めてきた。その躍進を止めないように周りの人に注目され、生徒の自己肯定感を上げる取組みを行い、学校を良くしていきたい。

(2) 学校概況報告 (資料 p 4 ~ 1 6 参照)

- ・進路指導部長による卒業生の進路先について
 - ・教務主任による出身中学校一覧や年間の学校行事について
 - ・主幹教諭による「総合的な探究の時間」での昨年度の取組みについて
- R4 各種表彰及び検定試験の合格状況について

(3) 今年度の取組予定

- ・主幹教諭による「総合的な探究の時間」での本年度の取組みについて

(4) その他

〔委員からの質疑応答・感想〕

- ・横浜商科大学の進学者はいるのか。
→現在の 3 年生に進路希望調査を行っている最中であり、早い段階で優秀な生徒を送り出したい。
- ・「那須まち人物図鑑」はよい取り組みだが、持続可能ではないため、高校生が活躍できる環境づくりの検討が必要である。
→本校ではボランティアの募集を積極的に行っている。かけ算九九ボランティアにおいて、高校生が当時苦勞して覚えたことから小学生との共感を得られて好評である。こうした活動を継続していく。
- ・「那須まち人物図鑑」は 3 年目の岐路に立って、生徒からの熟議において「なぜ作っているのか」など主体性が少しずつかけているように感じている。「那須まち人物図鑑」を作る目的である良質な大人との触れ合いを意識させて、活動を振り返るべきではないか。
→作ることが目的となっていて、生徒が「那須まち人物図鑑」を読むことが少ないと感じている。しかし、働く大人の声を聴くことや話し合いの連絡調整など学ぶ場面も大きいので、教師側の指導の共通理解を図るなどして対応したい。
- ・那須町が行っている那須高校への支援はどのようになっているか。
→オオハンゴンソウ駆除活動でのバスの手配、市営のパソコン操作への支援ワークスペースの提供および延長の検討をしている。
- ・ワークスペースにおいて、学社連携を進め、生徒の居場所づくりを提供できないか。
→1 つの意見として、那須町で検討していく。
- ・那須高校のリゾート観光科を他県の生徒を呼ぶなど全国募集はできないのか。
→栃木県教育委員会では日光明峰・馬頭高校水産科での全国募集を認めている。
那須高校のリゾート観光科の全国募集は、教育委員会の検討が必要である。
- ・今回で生徒の意見を学校が吸い上げ、その意見を社会に還元する学校運営協議会の本来の役割がようやく実現可能な形になった。黒田原を拠点としたコンパクトシティを活かして、高校生などの若者が地域貢献できる場所の検討を進めていきたい。